

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

見やすい方法で確認するための ICT 活用
「Google マップ ストリートビューによる歩行計画づくり」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部 普通科3年
	障がい名等	視覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> PCを使うことで検索したり、文字を拡大したりすることができる。Google マップのストリートビューを見て道を確認することができる。 コミュニケーション面では、緊張する場面で、言い出しの音が発話しにくいことがある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	自立活動
	単元(題材)名	単元名「歩行計画を立てよう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 目的地までの経路を調べ、安全を確認しながら歩行計画を立てる。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>Google マップ</p>  <p>ストリートビューで経路を確認する様子</p> <p>ホワイトボードにまとめた歩行図</p>
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ PCの活用により、主体的に歩行経路を調べ、ホワイトボードに歩行図を作成し、歩行計画を立てることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google ストリートビューを活用し、自由に地図上の文字を拡大して見られるようにする。 ・ 点字ブロックや歩行者用信号機があるかどうか、道幅が広いかなどをパソコン画面で目視により確認させ安全確認ができるようにする。
	材料・作成方法等	PC、Google マップ
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> Google マップのストリートビューを使用して目視により確認することで、生徒の見え方や考え方をもとに歩行経路に見通しを持ち、歩行計画を立てることができた。